



令和5年6月26日

～夏に流行する感染症～

まだまだどんよりした天気が続く梅雨が続きます。ですが梅雨が明けたら夏開始。この時期から徐々に増え、夏に流行する感染症で受診される患者様もぼちぼち多くなってきています。これらをわかりやすく表にまとめてみました。正しい知識をもとに、これからのお子様の病気についてていきましょう。

水いぼ(伝染性軟属腫)

原因

- ボックスウイルス科：伝染性軟属腫ウイルス

症状

- 自覚症状はほとんどない
- 増大する際に痒みを伴う

潜伏期間
2~7週

発症

自然治癒期間
6ヶ月~4年

→ウイルスの抗体が出来れば自然治癒します

治療

- 基本的に経過観察で(そのうち自然とウイルスを退治する免疫が出来ます)
- 積極的治療なら切除、液体窒素、硝酸銀、トリクロロ酢酸、ヨクイニン内服など

Q.プールは入ってもいいですか？

A.学会の見解では**大丈夫！**とされていますが、それぞれの幼稚園、保育園、小学校、プール施設で取り決めがあるので、守ってください

Q.どんどん増えていくのですが…

A.水いぼをひっかく→ウイルスを含んだ浸出液が出る→ひっかいて傷になった皮膚からウイルスが侵入する→水いぼが増える。という流れで増えていきます。乾燥肌、アトピー性皮膚炎の子も皮膚のバリア機能が低下しているため増えるのが早いです。

自然治癒を待つくらいなら、少ないうちに積極的に治療した方が賢明だと思います



とびひ(伝染性膿痂疹)

原因

- 水痘性膿痂疹(黄色ブドウ球菌)
- 痂瘍性膿痂疹(A群β溶血レンサ球菌)など

症状

- 痒みを伴う水ぶくれ
- 水ぶくれが破れて内容物の細菌が拡大

治療

- 抗菌薬の内服、外用
- 痒みを抑える抗アレルギー薬内服、外用



荒れて皮膚の
バリア機能低下

細菌
侵入

痒みを伴った
水ぶくれを形成

極く事で水ぶ
くれが破れる

極いて「で
別の皮膚を搔く

皮膚が傷つき
細菌侵入

Q. プールに入っていますか?

繰り返す

Q. 予防法はありますか

- 肌を清潔に保つ事
- 患部を搔かない
- タオルや衣類は共有しない



等があります。
まずは清潔を
心がけましょう

A.ダメです。入る事により悪化させたり、他人にうつす
恐れがあります。完全になくなるまでは控えてください

Q. 幼稚園や保育園に行ってもいいですか?

A.ガイドラインには「登園の目安は皮疹が乾燥している
か、湿潤部位が被覆できる程度のものであること」とあ
りますが、施設ごとに独自のルールを設けてある場合
もありますので、一度ご確認ください

参考資料:厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」、日本皮膚科学会

手足口病

原因

- コクサッキーA16ウイルス
- エンテロウイルス71など

症状

- 手足口の小水疱
- 発熱・疼痛を伴う場合もあり

潜伏期間

3~5日

発症期間

3~7日

回復期間

1~2週間



治療

- 根本的な治癒(抗ウイルス薬)はない
- 皮疹や発熱、自覚症状に応じた対症療法

☆こまめな水分補給を☆

予防

- 感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染(排出されたウイルスが空気中に)
- こまめなうがい、手洗い、マスク装着などの予防が効果的



Q. いつから学校に行ってもいいですか?

A.赤みが引いてきたり、発熱がなくなったら行ってもいいですよ。
回復期間で人にうつす可能性はありますが、学校保健法にも
定められてませんし、予防していれば問題はないと思います。

参考資料:国立感染症研究所、CDC(アメリカ疾病管理予防センター)

皆様早め早めの受診をお願いいたします。

各務原市那加桜町2-368 Tel 058-383-6800

三和皮フ科HP : <http://miwahifuka.org/>